

大声でつづやく

51

けったいな町医者

作家・医学博士 長尾和宏



映画「安楽死特区」はぜひ劇場で

多くの人は新薬に頼りたがる。でも、新薬から映画「安楽死特区」はむしろ怖いものはない、区」はもしかしたら早く終わってしまうかと思う。疑ってかかるのが賢明ではないのも。寒さと選挙とテーマ。薬書の歴史を勉強すればそうなる。

マの重さがズシーとしかかってくる。やっぱり

く。マスクが盛んに宣伝しているからだ。新しい高い薬はこれくらい効くのか。

僕自身は、①栄養、②歩行(太陽光)、③環境(趣味や人間関係や接し方)だと思っている。さんさん本に書いてきた。

島です」が2位に選ばれた。2025年映画芸術ベストテンである。とてもありがたい知らせを喜んでいる。

長尾和宏
オフィシャル
サイト

認知症の新薬について質問をよくいただ